DocuPrint C3350

PC-PR201H エミュレーション設定ガイド

ご注意

①本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。

②本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

③本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。

④本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。

⑤本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。

また、安全法規制 (電波規制や材料規制など) は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

はじめに

このたびは本機をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書では、PC-PR201H エミュレーションについて記載しています。

製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご使用いただくために、必要に応じて本書をお読みください。

本書の内容は、ご使用になる環境の基本的な知識や操作方法、および本機の基本操作を習得されていることを前提に説明しています。

富士ゼロックス株式会社

目次

マニュアル体系

本機に同梱されているマニュアル

セットアップガイド	本機の設置手順を説明しています。
知りたい、困ったにこたえる本	プリンターの基本的な使い方と、お客様からよくある質問を取り上げ、1 冊にまとめました。トラブルで困ったときの解決方法も紹介しています。また、オプションの増設システムメモリーや、セキュリティ拡張キット、パラレルインターフェイスカード、ギガビットイーサネットカードの取り付け手順について説明しています。 このマニュアルで紹介しきれない内容や、もっと詳しい情報が知りたい場合は、『ユーザーズガイド』を参照してください。
ユーザーズガイド（PDF）	本機の設置が終わってから印刷するまでの準備、印刷機能の設定方法、操作パネルの仕様設定項目、トラブルの対処方法、および日常の管理について、説明しています。 ・ このマニュアルは、ドライバー CD キットの CD-ROM 内の機種固有マニュアルの中に収録されています。
マニュアル（HTML 文書）	プリンター環境の設定方法と、プリンタードライバー、およびソフトウエアのインストール方法について説明しています。 ・ このマニュアルは、ドライバー CD キットの CD-ROM 内に収録されています。
エミュレーション設定ガイド（PDF）（本書）	ART IV、ESC/P、PCL、PC-PR201H、HP-GL®、HP-GL/2® の各エミュレーションについて説明しています。（本書は、PC-PR201H エミュレーション設定ガイドについて説明しています。） ・ このマニュアルは、ドライバー CD キットの CD-ROM 内の機種固有マニュアルの中に収録されています。

オプション品に同梱されているマニュアル、購入するマニュアル

設置手順書	別売りのオプション品には、必要に応じて、設置手順書が同梱されています。
PostScript ユーザーズガイド（PDF）	PostScript® プリンターとして使用するための設定方法や、プリンタードライバーで設定できる項目を説明しています。 ・ このマニュアルは、PostScript ソフトウエアキットに同梱されている CD-ROM 内に収録されています。
商品マニュアル（必要に応じて購入してください）	プリンター（プロッター）制御言語のコマンドなどを説明したマニュアル（リファレンスマニュアル（ART IV 対応）など）です。

補足
・ PDF 文書を表示するには、お使いのコンピューターに Adobe® Reader® がインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、ドライバー CD キットの CD-ROM を使って、Adobe Reader をインストールしてください。

本書の使い方

本書の構成

本書は、以下の構成になっています。

1. エミュレーションを使用するには

   使用できるインターフェイスや、使用できるフォント、エミュレートするプリンター、工場出荷時の設定での動作などについて説明しています。

2. 201H モードの設定

   PC-PR201H エミュレーションを使用するための、プリンターでの設定について説明しています。

3. 201H モード関連資料

   倍率値や、各用紙サイズでの印字可能桁数などについて説明しています。

本書の表記

1. 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。

2. 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。

   注記　注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。

   補足　補足事項を記述しています。

   参照　参照先を記述しています。

3. 本文中では、次の記号を使用しています。

   参照「　」：参照先は、本書内です。

   参照『　』：参照先は、本書内ではなく、ほかのマニュアルです。

   [　]：コンピューターやプリンター操作パネルのディスプレイに表示される項目を表します。また、プリンターから出力されるレポート / リスト名を表します。

   〈　〉：キーボード上のキーや、プリンターの操作パネル上のボタン、ランプなどを表します。

   ＞：操作パネルの仕様設定メニューの階層を表します。

   例：プリントできます＞プリント言語の設定＞ 201H

1　エミュレーションを使用するには

1.1　エミュレーションについて

本機で使用できるプリント言語の PC-PR201H エミュレーションについて説明します。

プリントデータは、ある規則（文法）に従ったデータになっています。本機では、この規則（文法）をプリント言語といいます。

本機が対応しているプリント言語は、ページ単位にイメージを作るページ記述言語と、他社のプリンターでの印刷結果に近い結果を得ることができるエミュレーションに分類できます。なお、他社のプリンターでの印刷結果に近い結果を得ることを、エミュレートするといいます。

エミュレーションモード

本機が対応するページ記述言語以外のデータを印刷するときは、本機をエミュレーションモードにします。本機には、複数のエミュレーションモードがあります。その中の PC-PR201H エミュレーションモードと、エミュレートするプリンターの対応は、次のとおりです。

エミュレーションモード	エミュレートするプリンター
201H エミュレーションモード（201H モード）	PC-PR201H

ホストインターフェイスとエミュレーション

ホストインターフェイスごとに、対応するプリント言語は異なります。プリント言語に対応しているホストインターフェイスは、次のとおりです。

- パラレルポート
- LPD ポート
- NetWare ポート
- SMB ポート
- IPP ポート
- USB ポート
- Port9100 ポート

プリント言語の切り替え

本機は、マルチエミュレーションに対応しています。このため、対応するプリント言語の切り替えができるようになっています。

対応するプリント言語を切り替える方法は、次のとおりです。

コマンド切り替え

対応するプリント言語を切り替えるコマンドを用意しています。本機は、コマンドを受け取ると、対応するプリント言語に切り替えます。

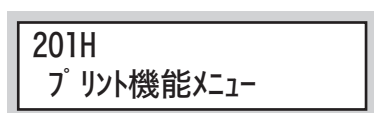
自動切り替え

ホストインターフェイスが受信したデータを分析し、プリント言語を自動的に特定します。そして、対応するプリント言語に切り替えます。

インターフェイス従属

操作パネルを使って、ホストインターフェイスごとにプリント言語を設定します。データを受信したホストインターフェイスに合わせて、対応するプリント言語に切り替えます。

モードメニュー画面

PC-PR201H エミュレーション固有の項目を設定する画面です。PC-PR201H のモードメニュー画面を表示するには、〈仕様設定〉ボタンを押し、［プリント言語の設定］で［201H］を選択してください。［201H］モードメニューの画面の最初は、次の画面が表示されます。

201H
ﾌﾟﾘﾝﾄ機能ﾒﾆｭｰ

参照

・ 201H のモードメニュー項目：「2 201H モードの設定」(P. 13)

1.2　フォントについて

ここでは、PC-PR201H エミュレーションから使用できるフォントについて説明します。

使用できるフォント

PC-PR201H エミュレーションでは、以下のフォントが使用できます。

アウトラインフォント

和文

- 明朝（平成明朝体™ W3）
- ゴシック（平成角ゴシック体™ W5）

欧文

- ローマン
- サンセリフ

ユーザー定義文字（外字）

PC-PR201H エミュレーションモードでは、ユーザー定義文字（外字）を使用できます。

ユーザー定義文字はメモリーに格納され、電源を切ると消去されます。

ユーザー定義文字を格納する容量は、操作パネルから設定できますが、ART IV のユーザー定義データの容量と合わせた値です。PC-PR201Hエミュレーションモードでのユーザー定義文字の容量は変更されません。

ユーザー定義文字は、ビットマップフォントとして登録します。ユーザー定義文字は、各プリント言語の間で共有できません。

フォントキャッシュ

高速印刷を実現するために、ある程度の大きさまでのアウトラインフォントについては、フォントキャッシュを実行します。アウトラインフォントを印字するときには、一度、ビットマップの形式に変換されます。この処理時間をできるだけ短縮するために、処理後のビットマップ形式のデータを、メモリーに保存しておきます。これをフォントキャッシュといいます。

保存されたビットマップ形式のデータは、電源を切ったり、システムリセットをしたりすると、消去されます。

1.3　排出機能について

排出機能について説明します。排出機能には、次の 2 種類があります。

・ 残ったデータを強制排出する場合

・ プリンター内のすべてのジョブを排出する場合

残ったデータを強制排出する場合

PC-PR201H エミュレーションモードでは、1 ページ分のデータがすべてそろうと、排出されます。パラレルインターフェイス（オプション）、USB インターフェイスの場合、データの最後がページの途中で終了してしまったり、改ページコマンドが無いデータを受信すると、［自動排出時間］で設定されている時間が経過するまで、次のデータ待ちになります。ディスプレイには［データ待ちです］が表示されます。

強制排出は、このようなときに、自動排出時間を待たずに、プリンター内のデータを強制的に印刷する操作です。

操作手順は、次のとおりです。

補足

・ ディスプレイに［データ待ちです］が表示されている場合、次のジョブを送信すると正常に印刷されないことがあります。次のジョブは、強制排出後、または自動排出時間が経過してから送信してください。

参照

・ 自動排出時間：『ユーザーズガイド』

1. ディスプレイに右図の［データ待ちです］が表示されている状態で、〈OK〉ボタンを押します。

   印刷が開始されます。

   印刷が終了すると、［プリントできます］が表示されます。

補足

・ お使いの機種によって、［プリントできます］の表示が異なります。

注記

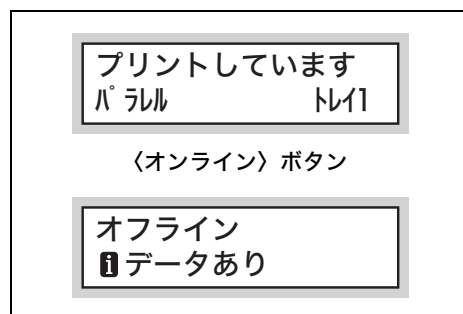
・ 共通メニュー項目の［プリントモード指定］が［自動］の場合、［データ待ちです］と表示されないため、強制排出できません。

プリンター内のすべてのジョブを排出する場合

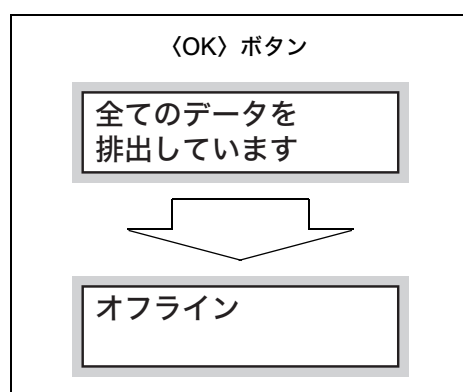
プリンターが受信している、すべてのジョブを印刷します。

この操作で、データの受信を中断し、バッファを空の状態にできます。次に、手順を説明します。

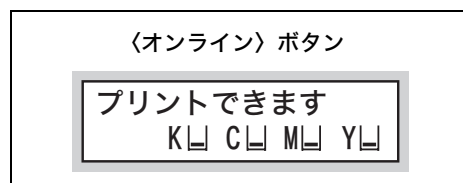
1. ディスプレイに右図の［プリントしています］が表示されている状態で、〈オンライン〉ボタンを押します。

補足
・〈オンライン〉ボタンを押すと、プリンターはデータを受信できない状態になります。

2. 〈OK〉ボタンを押します。
印刷が開始されます。

すべてのジョブを実行して印刷すると、［オフライン］の表示になります。

補足
・パラレルインターフェイス、USBインターフェイスを使用している場合、手順1の〈オンライン〉ボタンを押すタイミングによって、データ受信がジョブの途中になることがあります。
この場合、それ以降のデータは〈OK〉ボタンを押したあと、新しいジョブとして認識されます。手順3のオフライン解除後、新しいジョブとして処理されます。

3. 〈オンライン〉ボタンを押します。
［プリントできます］の表示になります。

〈オンライン〉ボタン
プリントできます
K␣ C␣ M␣ Y␣

補足
・［プリントできます］表示後、新しいジョブとして処理されるデータは、共通メニュー項目の［プリントモード指定］で［自動］が設定されている場合、正常に印刷されないことがあります。

1.4　エミュレーションモードでの印刷機能

PC-PR201H エミュレーションモードで使用できる、本機の印刷機能について説明します。

N アップ

N アップは、複数ページを縮小して、1 枚の用紙に印刷する機能です。

PC-PR201H エミュレーションモードでは、2 アップを利用できます。

フォーム合成

PC-PR201H エミュレーションモードでは、あらかじめフォームをプリンターに登録しておき、プリントデータに合成して印刷できます。PC-PR201H、および ART IV のフォームが使用できます。

操作パネルから、合成するフォームを指定できます。

バーコード

PC-PR201H モードでは、バーコードを利用できます。利用できるバーコード規格は、次のとおりです。

- Code39
- JAN-8
- JAN-13
- NW-7（CODEBAR）
- ITF（Interleaved 2 of 5）
- IDF（Industrial 2 of 5）
- Matrix 2 of 5

フォームについて

本機では、PC-PR201H を使用して定形のフォームを登録できます。フォームは、64 ファイルまで登録できます。

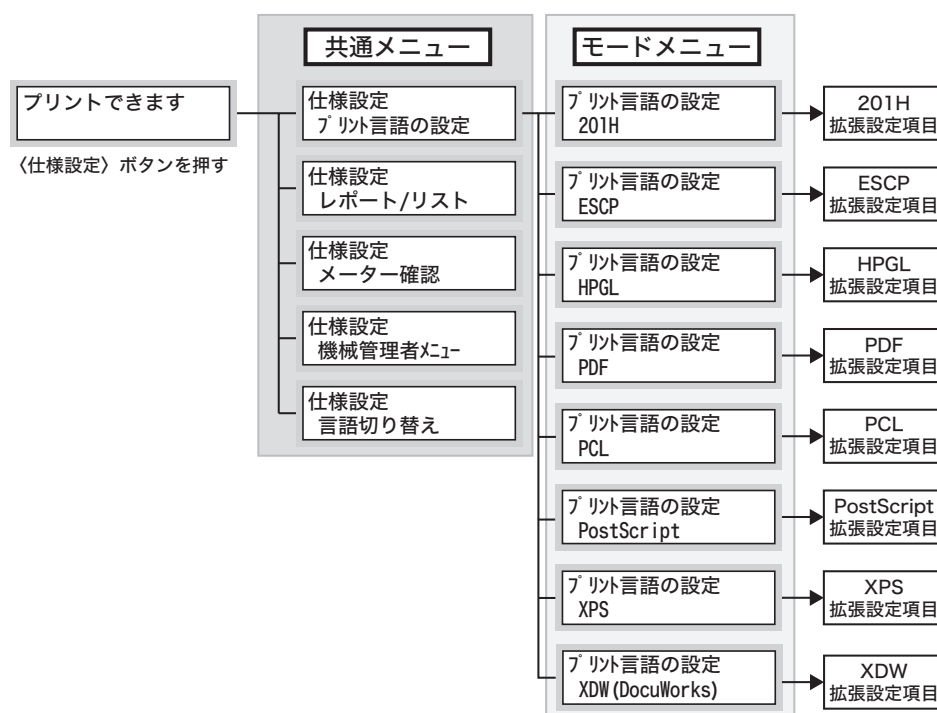
補足

- フォーム登録数の上限を超えてフォームを登録しようとした場合、またはフォーム用のメモリー容量がいっぱいになった場合、フォーム登録の操作中にエラーなどは表示されませんが、新しいフォームは登録されません。
  フォームが登録されたかどうかは、[ART IV, PR201H, ESC/P ユーザー定義リスト］で確認してください。[ART IV, PR201H, ESC/P ユーザー定義リスト］については、「2.3 201H モードのリストについて」(P. 23) を参照してください。

2　201H モードの設定

2.1　本機の仕様設定について

仕様設定には、エミュレーション関連を設定するモードメニューと、プリンターのそのほかの設定を行う共通メニューがあります。

補足
・モードメニューの［201H］［HPGL］［PCL］は、エミュレーションキット（オプション）または PostScript ソフトウエアキット（オプション）を取り付けている場合に表示されます。
・モードメニューの［PostScript］は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）を取り付けている場合に表示されます。

PC-PR201H に関連する共通メニュー

PC-PR201H に関連する共通メニューの設定項目について、説明します。

補足
・［パラレル］は、パラレルインターフェイスカード（オプション）を取り付けると表示されます。

参照
・共通メニュー項目の詳細と操作方法：『ユーザーズガイド』

■ ネットワーク / ポート設定

［機械管理者メニュー］＞［ネットワーク / ポート設定］で、エミュレーションモードで使用するポートの設定を行います。

・ポートの起動（パラレル /LPD/NetWare/SMB/IPP/USB/Port9100）
　201H エミュレーションを使用するポートを起動します。

・ プリントモード指定（パラレル /LPD/NetWare/SMB/IPP/USB/
Port9100（初期値：[自動]））
各ポートのプリントモード指定を、PC-PR201H エミュレーションが使用できるように設定します。プリントモードとして［201H］や［HexDump］を指定できます。初期値はすべてのポートで［自動］です。

補足
・ [プリントモード指定] では、ホスト装置から受信したデータの処理方法を設定します。ここで [201H] を設定すると、「プリント言語の切り替え」(P. 8) で説明している「自動切り替え」はできなくなります。

■ フォームの削除

[機械管理者メニュー］＞［初期化 / データ削除］＞［フォーム / マクロの削除］で、本機に登録されているフォームを削除します。登録されているフォームがない場合は、[フォーム登録はありません］と表示されます。

・ 201H フォーム削除
201H 用のフォームを削除します。

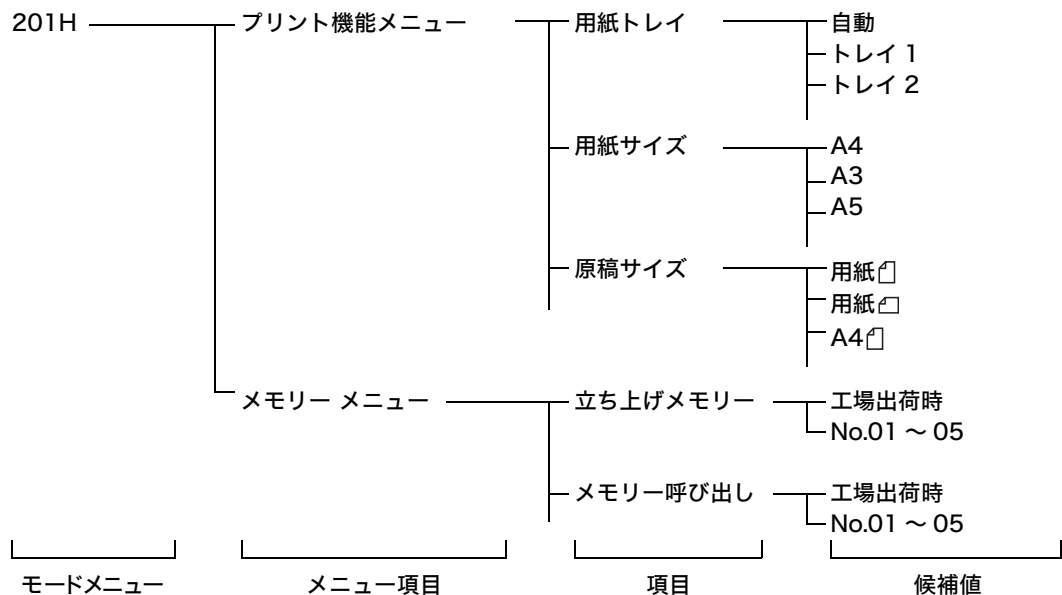
モードメニューについて

201H モードメニューは、PC-PR201H エミュレーション固有の設定をするためのメニューです。

モードメニューの設定内容を、印刷中に変更できます。この場合、変更された設定は、次のジョブから反映されます。

モードメニューは、次のような階層で構成されています。

・ モードメニュー＞メニュー項目＞項目＞候補値

補足
・ 項目のないメニュー項目もあります。
項目は、項目 1、項目 2、項目 3 に分けられる場合があります。
（以降、特に断らないかぎり、項目と呼びます。）

上記の図は、201H モードメニューの階層の一部を表したものです。

参照
・ モードメニューで設定できる項目および操作：「2.2 201H モードメニューの設定」(P. 15)

2.2　201H モードメニューの設定

モードメニューで設定できる項目と、その設定方法について説明します。

201H 設定項目一覧

モードメニューで設定できる項目について説明します。

補足

- 装着されているオプション品によって、表示される候補値は異なります。詳しくは「モードメニュー一覧　DocuPrint C3350（201H)」(P. 35) を参照してください。

プリント機能メニュー

用紙トレイ

印刷に使用する用紙トレイを設定します。

候補値は次のとおりです。

[トレイ 1]（初期値）

[トレイ 2]

[トレイ 3]

[トレイ 4]

[トレイ 5（手差し)]

[自動]

補足

- [トレイ 1] ～ [トレイ 4] を選択した場合、その用紙トレイにセットされている用紙の大きさが用紙サイズとなるため [用紙サイズ] の設定はできません。
- [自動] に設定すると、[用紙サイズ] で設定した用紙がセットされている用紙トレイを探し出し、そこから自動給紙します。
- [自動] を選択した場合、同じサイズの用紙が同じ用紙方向で複数のトレイにセットされているときは、共通メニューで設定されているトレイの優先順位に従って給紙されます。
- [トレイ 2] ～ [トレイ 4] は、オプショントレイが装着されている場合に表示されます。

用紙サイズ

印刷する用紙のサイズを設定します。[用紙トレイ] の設定が [自動]、または [トレイ 5（手差し)] の場合に設定できます。設定できる用紙は、カット紙だけです。

候補値は次のとおりです。

[A4]（初期値）

[A3] [A5]

[B4] [B5]

[はがき]（用紙トレイが [トレイ 5(手差し)] の場合だけ）

[11x17"]（タブロイド）

[8.5x14"]（リーガル）

[8.5x13"]（フォリオ）（用紙トレイが [トレイ 5(手差し)] の場合だけ）

[8.5x11"]（レター）

補足

- [倍率] で [固定倍率] または [カット紙全面] が設定されている場合、[原稿サイズ] と [用紙サイズ] の組み合わせで倍率が自動的に設定されます。ただし、45 ～ 210% に収まらない倍率値となった場合、原稿は自動拡張 / 縮小されず等倍で印刷されます。
  また、2 アップモードが設定されている場合は、[原稿サイズ] と [用紙サイズ] の 1/2 の組み合わせで倍率が自動設定されます。
- [用紙トレイ] を、[トレイ 1] ～ [トレイ 4] のどれかに設定しているときは、設定しているトレイにセットされている用紙サイズが表示されます。[用紙サイズ] は設定できません。セットされている用紙サイズが不明なときは、[不明] と表示されます。

原稿サイズ

クライアントで作成された原稿のサイズと向きを設定します。

候補値は次のとおりです。

[用紙▯]（初期値）

[用紙▭]

[A4▯] [A4▭] [A3▯] [A3▭] [A5▯] [A5▭] [B4▯] [B4▭] [B5▯] [B5▭]
[はがき▯] [はがき▭]

[11x17"▯] [11x17"▭]（タブロイド）

[8.5x14"▯] [8.5x14"▭]（リーガル）

[8.5x13"▯] [8.5x13"▭]（フォリオ）

[8.5x11"▯] [8.5x11"▭]（レター）

[R15x12"▭]（連続紙 15x12　印字保証桁　136 桁 /72 行）

[R15x11"▭]（連続紙 15x11　印字保証桁　136 桁 /66 行）

[R10x12"▯]（連続紙 10x12　印字保証桁　80 桁 /72 行）

[R10x11"▯]（連続紙 10x11　印字保証桁　80 桁 /66 行）

補足
- [原稿サイズ] で連続紙を選択した場合、[用紙位置] の設定はできません。
- [倍率] で [固定倍率] または [カット紙全面] が設定されている場合、[原稿サイズ] と [用紙サイズ] の組み合わせで倍率が自動設定されます。
  また、2 アップモードが設定されている場合は、[原稿サイズ] と [用紙サイズ] の 1/2 の組み合わせで、倍率が自動設定されます。
- ここで設定する方向は、原稿の向きです。トレイ内の用紙のセットの方向には、影響しません。
- [用紙▯]、[用紙▭] を選択した場合は、[用紙サイズ] で指定したサイズと同じになります。

カラーモード

カラーモードを設定します。

[カラー] または [白黒] から選択します。初期値は [カラー] です。

プリント部数

■部数の入力

印刷する部数を設定します。

設定できる範囲は、1（初期値）～ 250 部です。

補足
- クライアントからプリント部数の指定があった場合、その値が反映されて印刷されます。印刷後、操作パネルの設定もその値に書き換えられます。ただし、NetWare、LPD ポートから指定された部数は、印刷後、操作パネルの設定を書き換えることはありません。
- 〈▼〉または〈▲〉ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続的に表示を変えることができます。また、〈▼〉と〈▲〉ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。

■部数の優先指定

印刷部数の指定方法を設定します。

候補値は次のとおりです。

[コマンド]（初期値）

[プロトコル]

[メモリー登録設定]

倍率

■固定倍率（初期値）

設定されている原稿サイズと用紙サイズから倍率が自動算出され、原稿サイズの印字エリアが用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。このため、原稿サイズと用紙サイズが同じなら 100%（等倍）印字となります。また、2 アップが設定されている場合には、2 枚分の原稿サイズが 1 枚の用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。

■任意倍率

任意の倍率値を設定します。縦および横について、それぞれ独立して 45 〜 210% の間で 1% 単位で設定できます。初期値は［たて 100%　よこ 100%］です。

■カット紙全面

カット紙全面領域が印字エリアに印字されます。

カット紙全面とは、設定されている原稿サイズと、用紙サイズから自動算出される倍率のことです。設定されている原稿サイズの物理的な紙の大きさが、用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。

補足
- ［原稿サイズ］で連続紙が設定されている場合、［固定倍率］または［カット紙全面］は同じ印字結果になります。
- ［任意倍率］の縦と横は、〈▶〉または〈◀〉ボタンでカーソルを移動し、指定してください。また、〈▼〉または〈▲〉ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続的に表示を変えることができます。また、〈▼〉と〈▲〉ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。

両面

両面印刷を設定します。

候補値は次のとおりです。

［しない］（初期値）

両面印刷を行いません。

［左右開き］

左右開きになるように印刷します。

［上下開き］

上下開きになるように印刷します。

補足
- ［両面］は、お使いの機種に両面印刷モジュール (オプション）が装着されている場合に設定できます。
- ［用紙サイズ］で［はがき］が選択されている場合は、［左右開き］と［上下開き］は選択できません。

2 アップ

2 アップ印字をするか、1 ページごとに印字するかを設定します。

2 アップとは、2 ページ分のデータを 1 ページに印字する機能です。用紙方向によって、上下、または左右のいずれかに印字されます。

候補値は次のとおりです。

［しない］（初期値）

2 アップ印字を行いません。

［順方向］

2 アップ印字を行います。最初に受信したページを用紙の左側、または上側に印字します。

［逆方向］

2 アップ印字を行います。最初に受信したページを用紙の右側、または下側に印字します。

注記
- ［原稿サイズ］で横向きを指定している場合、［順方向］と［逆方向］のどちらを設定しても、同じ結果となります。

手差し確認待ち

手差しトレイから給紙する印刷指示をしたあと、本体側の操作（〈OK〉ボタンを押す）によって、印刷を開始する機能です。［する］または［しない］（初期値）から選択します。

フォント

■漢字書体

2 バイト系文字（漢字）の書体を、［明朝］（初期値）、［ゴシック］のどちらかに設定します。なお、2 バイト系半角文字も、この書体が適用されます。

■英数字書体

1 バイト系文字（ANK）の書体を、[ローマン]（初期値）、[サンセリフ] のどちらかに設定します。

補足
- 本設定は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には、反映されません。

参照
- 「1.2 フォントについて」(P. 9)

用紙位置

[原稿サイズ] で [R15x12"]、[R15x11"]、[R10x12"]、[R10x11"] が選択されている場合の、用紙位置、およびシートフィーダー設定の有無を設定します。

候補値は次のとおりです。

[左]（初期値）

カットシートフィーダー設定をなしにし、印字する文字を 1 桁めに設定します。

[中央]

カットシートフィーダー設定をなしにし、印字する文字を 68 桁めと 69 桁めの中央に設定します。

[S 左]

カットシートフィーダー設定をありにし、印字する文字を 1 桁めに設定します。

[S 中央]

カットシートフィーダー設定をありにし、印字する文字を 68 桁めと 69 桁めの中央に設定します。

補足
- [原稿サイズ] で連続紙を選択している場合は、各原稿サイズによって [用紙位置] の値は固定となり、変更できません。
  [R15x12"]、[R15x11"] の場合：[左]
  [R10x12"]、[R10x11"] の場合：[中央]

位置補正

データを印刷する位置を上下、または左右方向に移動し、余白の位置を変えます。

■上下方向

-250 ～ 250mm の範囲で、1mm 単位で設定できます。初期値は [0mm] です。

インチ設定の場合、-9.8 ～ 9.8" の範囲で、0.1" 単位で設定できます。初期値は [0.0"] です。

■左右方向

-250 ～ 250mm の範囲で、1mm 単位で設定できます。初期値は [0mm] です。

インチ設定の場合、-9.8 ～ 9.8" の範囲で、0.1" 単位で設定できます。初期値は [0.0"] です。

補足
- 印字エリアを超えるデータは、位置補正をしても印字されません。また、位置補正により印字エリアを超えたデータは、印字されません。
- 〈▼〉または〈▲〉ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続的に表示を変えることができます。また、〈▼〉と〈▲〉ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。

罫線

2 バイト系罫線の印字方法を設定します。

候補値は次のとおりです。

[イメージ]（初期値）

2 バイト系罫線をイメージで印刷します。

罫線とイメージデータのずれがなくなります。

[フォント]

2 バイト系罫線をプリンター内蔵のフォントで印刷します。

選択した書体と統一した罫線が印字されます。

印字制御

■白紙節約

改ページだけのデータのように、プリントするデータがまったくない場合に、白紙を排出するかしないかを設定します。

［する］（初期値）または［しない］から選択します。

補足
- ［する］に設定した場合でも、外字で作成されたスペースや、白だけのイメージデータのときは白紙が排出されます。
- ［する］が設定され、2 アップ印刷または両面印刷の指示がされている場合は、白紙になるページはスキップして処理されます。

■イメージ エンハンス

イメージエンハンスとは、白黒の境めを滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。

イメージエンハンスを行うか行わないかを設定します。

候補値は次のとおりです。

［する］

イメージエンハンス機能を使用して、印刷します。

［しない］（初期値）

イメージエンハンス機能を使用しないで、印刷します。

■印字桁範囲

右マージンの位置を拡張できます。

候補値は次のとおりです。

［標準］（初期値）

右マージン位置を 10cpi で 136 桁位置に設定します。

［範囲拡張］

印字倍率の設定によって、10cpi で 136 桁位置の右側に余白がある場合に右マージン位置を拡張し、その領域にも印字します。

補足
- ［印字桁範囲］を［範囲拡張］から［標準］に設定変更した場合は、左右マージン値が初期化されます。
- コマンドで右マージン位置が設定された場合は、その位置が右端となります。

201H スイッチ

■国別文字

使用する文字を［日本］（初期値）、［アメリカ］、［イギリス］、［ドイツ］、［スウェーデン］の中から設定します。

■自動改行

右マージン位置を超えたときの自動改行の動作を設定します。

候補値は次のとおりです。

［CR］

印字復帰だけを行います。

［CR/LF］（初期値）

印字復帰後に改行を行います。

■印字指令

印字指令のコマンドを設定します。

候補値は次のとおりです。
[CR]（初期値）
印字指令のコマンドを CR のみとします。
[すべて]
印字指令のコマンドを CR、LF、VT、FF、US、ESC a、ESC b とします。

参照
・印字指令のコマンド：商品マニュアルの『リファレンスマニュアル（PC-PR201H2 対応）』

■CR の機能
CR コマンド受信時の動作を設定します。
候補値は次のとおりです。
[復帰]（初期値）
印字復帰だけを行います。
[復帰 / 改行]
印字復帰し、直後に改行を行います。

■0 の字体
数字の 0 の字体を、[斜線なし]（初期値）または [斜線あり] のどちらかに設定します。

■グラフィックドット数
ドット対応のグラフィックドット数の種類を [ネイティブ]（初期値）か [コピー] に設定します。

補足
・本設定は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。
・この設定は、8 ビットドットイメージ印字コマンドの印字結果に影響します。

■データサイズ
データのビットサイズを [7 ビット]（初期値）か [8 ビット] に設定します。

■ページ長
1 ページの長さ（印字エリア）を [11 インチ]（初期値）か [12 インチ] に設定します。

補足
・本設定は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。

拡張子指定

指定した拡張子を有効にするかどうかを、[有効]、または [無効]（初期値）で設定します。弊社の拡張コマンドを使用している場合は、[有効] に設定してください。

・拡張コマンドは、先頭に拡張子、次にコマンド判別データ、そして必要であればパラメーターデータが続く形式になっています。拡張子とは、拡張コマンドの先頭 2 バイト（16 進数で 1BH である ESC とそれに続く ;（セミコロン＝ 3BH））のことです。

拡張子文字

弊社の拡張コマンドを使用している場合は、実際に使用しているデータに合わせて適切なコードを設定してください。有効コードは、0x21 ～ 0x7d です。初期値は、[&%] です。

補足
・拡張コマンドは、先頭に拡張子、次にコマンド判別データ、そして必要であればパラメーターデータが続く形式になっています。拡張子とは、拡張コマンドの先頭 2 バイト（16 進数で 1BH である ESC とそれに続く ;（セミコロン＝ 3BH））のことです。

フォーム合成

201H および ART IV モードで登録されているフォーム名（各モード No.01 ～ 64）を選択すると、常にフォーム合成を行います。初期値は、[しない] です。

補足
- この項目は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。
- フォームを選択したあとで、フォームが削除された場合でも、再び本メニューを表示したときは、そのフォーム名が表示されます。ただし、その表示状態から〈▼〉または〈▲〉ボタン表示を変更すると、削除されたフォームは表示されなくなります。この場合は、[しない]に設定されます。
- フォームが登録されていない状態で、フォーム合成を選択した場合は、[フォーム登録はありません]というメッセージが表示されます。

メモリーメニュー

NV メモリー(No.01 ～ 05)に設定内容を登録し、必要に応じて呼び出すことができます。

立ち上げメモリー

立ち上げメモリーとは、あらかじめ[メモリー登録]で登録しておいた NV メモリー(No.01 ～ 05)を電源投入時やシステムリセット時などに読み出すことです。

ここでは、読み出す NV メモリーの No. を設定します。

初期値は[工場出荷時]です。工場出荷時の設定内容を読み出して立ち上げます。

メモリー呼び出し

あらかじめ登録されている設定内容を呼び出す機能です。

呼び出すメモリーの No. を設定します。

初期値は[工場出荷時]です。工場出荷時の設定内容を呼び出します。

メモリー登録

メモリーには、工場出荷時の設定内容と、ユーザーが設定内容を保存できる NV メモリー(No.01 ～ 05)があります。

メモリー登録では、NV メモリー(No.01 ～ 05)にあらかじめ設定したモードメニューの各種設定内容をひとまとめにして登録します。

登録しておくと、モードメニューの設定内容を簡単に呼び出したり、電源投入時に、毎回同じ設定を繰り返す必要がなくなります。

登録した設定内容は、NV メモリーの初期化、またはメモリー削除を行うまで保持されます。

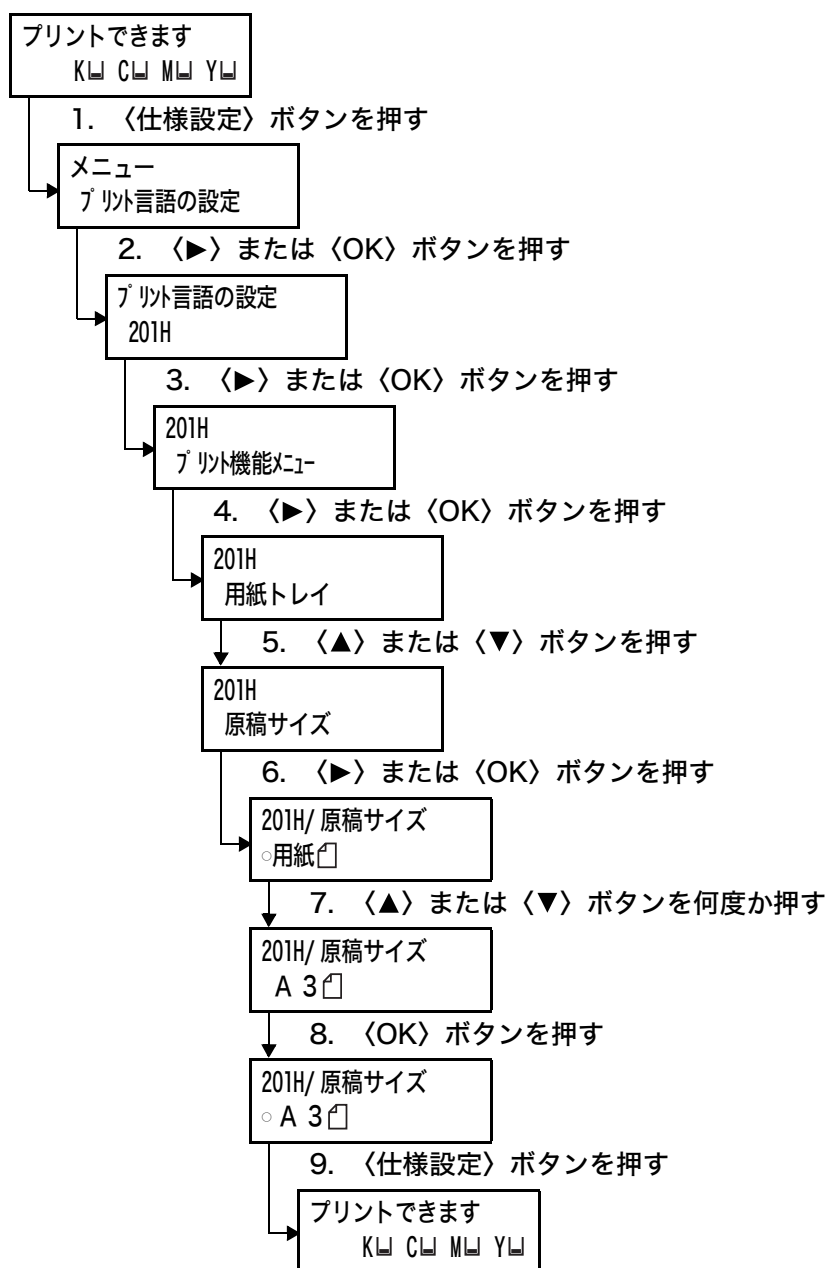
メモリー削除

NV メモリーに登録した設定内容を削除します。

ここでは、削除するメモリーの No. を設定します。

補足
- メモリーに設定内容が登録されていない場合、[No.01]～[No.05]は表示されません。

201H モードメニューの設定方法

モードメニューの設定方法について、201H モードの原稿サイズを［A3□］に設定する場合を例に説明します。

2.3　201H モードのリストについて

201H モードのリストについて説明します。

参照
・ その他のレポート / リストについては、『ユーザーズガイド』を参照してください。

PC-PR201H 設定リスト

201H モードでの設定を確認できます。

操作パネルで、［レポート / リスト］＞［プリント言語］＞［201H 設定リスト］を選択し、印刷します。

PC-PR201H 論理プリンター・メモリー登録リスト

NV メモリーに登録されている設定値を確認できます。

操作パネルで、［レポート / リスト］＞［プリント言語］＞［201H 登録リスト］を選択し、印刷します。

フォントリスト

本機で使用できるフォントの一覧が印刷されます。201H で使用できるフォントと、その印字見本を確認できます。

操作パネルで、［レポート / リスト］＞［フォントリスト］を選択し、印刷します。

ART IV, PR201H, ESC/P ユーザー定義リスト

［ART IV, PR201H, ESC/P ユーザー定義リスト］では、登録したフォーム、ロゴ、ユーザー定義領域の使用状況などを確認できます。

操作パネルで、［レポート / リスト］＞［ユーザー定義リスト］を選択し、印刷します。

3 201H モード関連資料

3.1 倍率値一覧表

補足
・ お使いのプリンターの機種によっては、使用できない用紙サイズがあります。

固定倍率値

原稿サイズ	用紙サイズ	A3	B4	A4	B5	A5	ハガキ	11×17 (DL)	8.5×14 (LG)	8.5×13 (GG)	8.5×11 (LT)
A3	長辺	100	86	70	60	49	100	103	84	78	66
	短辺	100	86	70	60	48	100	94	72	72	72
B4	長辺	116	100	81	70	57	100	119	98	90	76
	短辺	116	100	81	70	56	100	109	83	83	83
A4	長辺	143	123	100	86	70	48	147	120	112	94
	短辺	143	123	100	86	69	45	135	103	103	103
B5	長辺	164	143	116	100	81	56	171	140	130	109
	短辺	164	143	116	100	80	53	156	120	120	120
A5	長辺	204	177	143	123	100	69	210	172	160	135
	短辺	207	178	145	124	100	65	195	149	149	149
ハガキ	長辺	100	100	100	178	145	100	100	100	100	100
	短辺	100	100	100	190	153	100	100	100	100	100
11×17 (DL)	長辺	97	84	68	59	48	100	100	82	76	64
	短辺	106	92	74	64	51	100	100	77	77	77
8.5×14 (LG)	長辺	119	102	83	72	58	100	122	100	93	78
	短辺	139	120	97	84	67	100	131	100	100	100
8.5×13 (GG)	長辺	128	111	90	77	63	100	132	108	100	84
	短辺	139	120	97	84	67	100	131	100	100	100
8.5×11 (LT)	長辺	152	131	106	92	74	100	156	128	119	100
	短辺	139	120	97	84	67	100	131	100	100	100

単位：[%]

補足
・ 長辺または短辺の倍率値が 45 〜 210% の範囲外の場合には、長辺と短辺の両方の倍率値は 100% となります。
・ DL はダブルレター、LG はリーガル、GG はガバメントリーガル、LT はレターサイズを表します。

固定倍率値（2 アップ指定時）

原稿サイズ	用紙サイズ	A3/2	B4/2	A4/2	B5/2	A5/2	ハガキ /2	DL/2	LG/2	GG/2	LT/2
A3	長辺	70	60	49	100	100	100	66	50	50	50
	短辺	70	60	48	100	100	100	72	59	54	45
B4	長辺	81	70	57	49	100	100	76	58	58	58
	短辺	81	70	56	48	100	100	83	68	63	53
A4	長辺	100	86	70	60	48	100	94	72	72	72
	短辺	100	86	69	59	48	100	103	84	78	65
B5	長辺	116	100	81	70	56	100	109	83	83	83
	短辺	116	100	80	69	55	100	120	98	90	76
A5	長辺	143	123	100	86	69	45	135	103	103	103
	短辺	145	124	100	86	69	47	149	121	112	94
ハガキ	長辺	100	178	145	124	100	65	100	149	149	149
	短辺	100	190	153	131	105	71	100	185	172	144
11×17 (DL)	長辺	68	59	48	100	100	100	64	49	49	49
	短辺	74	64	51	100	100	100	77	62	58	48
8.5×14 (LG)	長辺	83	72	58	50	100	100	78	60	60	60
	短辺	97	84	67	57	100	100	100	82	75	63
8.5×13 (GG)	長辺	90	77	63	54	100	100	84	64	64	64
	短辺	97	84	67	57	100	100	100	82	75	63
8.5×11 (LT)	長辺	106	92	74	64	51	100	100	77	77	77
	短辺	97	84	67	57	46	100	100	82	75	63

単位：[%]

補足
- 長辺または短辺の倍率値が 45 ～ 210% の範囲外の場合には、長辺と短辺の両方の倍率値は 100% となります。
- DL はダブルレター、LG はリーガル、GG はガバメントリーガル、LT はレターサイズを表します。

カット紙全面倍率値

原稿サイズ	用紙サイズ	A3	B4	A4	B5	A5	ハガキ	11×17 (DL)	8.5×14 (LG)	8.5×13 (GG)	8.5×11 (LT)
A3	長辺	98	85	69	59	48	100	101	83	77	64
	短辺	97	84	68	58	47	100	91	70	70	70
B4	長辺	113	98	79	68	55	100	116	95	88	74
	短辺	112	97	78	67	54	100	105	81	81	81
A4	長辺	138	120	97	84	68	100	142	117	108	91
	短辺	137	118	96	82	66	100	129	99	99	99
B5	長辺	160	138	112	97	78	54	165	135	125	105
	短辺	158	136	110	95	76	50	149	114	114	114
A5	長辺	196	169	137	118	96	66	201	165	153	129
	短辺	195	168	136	117	94	62	183	140	140	140
ハガキ	長辺	100	100	195	168	136	94	100	100	100	183
	短辺	100	100	201	173	139	91	100	100	100	207
11×17 (DL)	長辺	95	82	67	57	47	100	98	80	74	63
	短辺	103	89	72	62	50	100	97	74	74	74
8.5×14 (LG)	長辺	116	100	81	70	57	100	119	98	90	76
	短辺	133	115	93	80	64	100	125	96	96	96
8.5×13 (GG)	長辺	125	108	87	75	61	100	128	105	97	82
	短辺	133	115	93	80	64	100	125	96	96	96
8.5×11 (LT)	長辺	147	127	103	89	72	100	151	124	115	97
	短辺	133	115	93	80	64	100	125	96	96	96

単位：[%]

補足
- 長辺または短辺の倍率値が 45 〜 210% の範囲外の場合には、長辺と短辺の両方の倍率値は 100% となります。
- DL はダブルレター、LG はリーガル、GG はガバメントリーガル、LT はレターサイズを表します。

カット紙全面倍率値（2 アップ指定時）

原稿サイズ	用紙サイズ	A3/2	B4/2	A4/2	B5/2	A5/2	ハガキ /2	DL/2	LG/2	GG/2	LT/2
A3	長辺	69	59	48	100	100	100	64	49	49	100
	短辺	68	58	47	100	100	100	70	57	53	100
B4	長辺	79	68	55	48	100	100	74	57	57	57
	短辺	78	67	54	46	100	100	81	66	61	51
A4	長辺	97	84	68	58	47	100	91	70	70	70
	短辺	96	82	66	57	46	100	99	80	74	62
B5	長辺	112	97	78	67	54	100	105	81	81	81
	短辺	110	95	76	65	53	100	114	93	86	72
A5	長辺	137	118	96	82	66	100	129	99	99	99
	短辺	136	117	94	80	65	100	140	114	106	88
ハガキ	長辺	195	168	136	117	94	62	183	140	140	140
	短辺	201	173	139	119	96	65	207	169	156	131
11×17 (DL)	長辺	67	57	47	100	100	100	63	48	48	48
	短辺	72	62	50	100	100	100	74	60	56	47
8.5×14 (LG)	長辺	81	70	57	49	100	100	76	58	58	58
	短辺	93	80	64	55	100	100	96	78	72	61
8.5×13 (GG)	長辺	87	75	61	52	100	100	82	63	63	63
	短辺	93	80	64	55	100	100	96	78	72	61
8.5×11 (LT)	長辺	103	89	72	62	100	100	97	74	74	74
	短辺	93	80	64	55	100	100	96	78	72	61

単位：[%]

補足
- 長辺または短辺の倍率値が 45 ～ 210% の範囲外の場合には、長辺と短辺の両方の倍率値は 100% となります。
- DL はダブルレター、LG はリーガル、GG はガバメントリーガル、LT はレターサイズを表します。

連続紙全面倍率値

原稿サイズ	用紙サイズ	A3	B4	A4	B5	A5	ハガキ	11×17 (DL)	8.5×14 (LG)	8.5×13 (GG)	8.5×11 (LT)
10×11"	長辺	147	127	103	89	72	50	151	124	115	97
	短辺	142	122	99	85	68	45	133	102	102	102
10×12"	長辺	135	117	95	81	66	46	139	114	105	89
	短辺	142	122	99	85	68	45	133	102	102	102
15×11"	長辺	119	103	83	72	58	100	122	100	93	78
	短辺	103	89	72	62	50	100	97	74	74	74
15×12"	長辺	119	103	83	72	58	100	122	100	93	78
	短辺	95	81	66	57	46	100	89	68	68	68

単位：[%]

補足
- 長辺または短辺の倍率値が 45 ～ 210% の範囲外の場合には、長辺と短辺の両方の倍率値は 100% となります。
- DL はダブルレター、LG はリーガル、GG はガバメントリーガル、LT はレターサイズを表します。

連続紙倍率値（2 アップ指定時）

原稿サイズ	用紙サイズ	A3/2	B4/2	A4/2	B5/2	A5/2	ハガキ /2	DL/2	LG/2	GG/2	LT/2
10×11"	長辺	103	89	72	62	50	100	97	74	74	74
	短辺	99	85	68	59	47	100	102	83	77	64
10×12"	長辺	95	81	66	57	46	100	89	68	68	68
	短辺	99	85	68	59	47	100	102	83	77	64
15×11"	長辺	83	72	58	100	100	100	78	60	60	60
	短辺	72	62	50	100	100	100	74	60	56	47
15×12"	長辺	83	72	58	100	100	100	78	60	60	100
	短辺	66	57	46	100	100	100	68	55	51	100

単位：[%]

補足
- 長辺または短辺の倍率値が 45 ～ 210% の範囲外の場合には、長辺と短辺の両方の倍率値は 100% となります。
- DL はダブルレター、LG はリーガル、GG はガバメントリーガル、LT はレターサイズを表します。

3.2 用紙サイズと印字可能桁数

補足
・ お使いのプリンターの機種によっては、使用できない用紙サイズがあります。

左置き、シートフィーダー設定なしの場合

用紙サイズ	縦置き			横置き		
	印字開始桁	印字桁数	印字行数	印字開始桁	印字桁数	印字行数
A3	1	113	89	1	161	60
B4	1	97	76	1	139	51
A4	1	79	60	1	113	40
B5	1	68	51	1	97	33
A5	1	54	40	1	79	25
ハガキ	1	35	29	1	54	18
DL (11×17)	1	106	92	1	166	56
LG (8.5×14)	1	81	74	1	136	41
GG (8.5×13)	1	81	68	1	126	41
LT (8.5×11)	1	81	56	1	106	41

左置き、シートフィーダー設定ありの場合

用紙サイズ	縦置き			横置き		
	印字開始桁	印字桁数	印字行数	印字開始桁	印字桁数	印字行数
A3	1	113	96	1	161	67
B4	1	97	83	1	139	58
A4	1	79	67	1	113	47
B5	1	68	58	1	97	40
A5	1	54	47	1	79	32
ハガキ	1	35	29	1	54	18
DL (11×17)	1	106	99	1	166	63
LG (8.5×14)	1	81	81	1	136	48
GG (8.5×13)	1	81	75	1	126	48
LT (8.5×11)	1	81	63	1	106	48

補足
・ 文字ピッチ 10CPI、行ピッチ 6LPI を基準にした値です。
・ 縦 / 横倍率は、それぞれ 100% です。
・ 印字開始桁とは、用紙上のいちばん左に印字される文字の桁位置です。
・ DL はダブルレター、LG はリーガル、GG はガバメントリーガル、LT はレターサイズを表します。

中央置き、シートフィーダー設定なしの場合

用紙サイズ	縦置き			横置き		
	印字開始桁	印字桁数	印字行数	印字開始桁	印字桁数	印字行数
A3	13	112	89	1	148	60
B4	21	96	76	1	137	51
A4	30	78	60	13	112	40
B5	35	68	51	21	96	33
A5	42	54	40	30	78	25
ハガキ	48	35	29	48	54	18
DL (11×17)	16	106	92	1	151	56
LG (8.5×14)	29	80	74	1	136	41
GG (8.5×13)	29	80	68	6	126	41
LT (8.5×11)	29	80	56	16	106	41

中央置き、シートフィーダー設定ありの場合

用紙サイズ	縦置き			横置き		
	印字開始桁	印字桁数	印字行数	印字開始桁	印字桁数	印字行数
A3	13	112	96	1	148	67
B4	21	96	83	1	137	58
A4	30	78	67	13	112	47
B5	35	68	58	21	96	40
A5	42	54	47	30	78	32
ハガキ	48	35	29	48	54	18
DL (11×17)	16	106	99	1	151	63
LG (8.5×14)	29	80	81	1	136	48
GG (8.5×13)	29	80	75	6	126	48
LT (8.5×11)	29	80	63	16	106	48

補足
- 文字ピッチ 10CPI、行ピッチ 6LPI を基準にした値です。
- 縦 / 横倍率は、それぞれ 100% です。
- 印字開始桁とは、用紙上のいちばん左に印字される文字の桁位置です。
- 中央置きの場合は、68 桁めと 69 桁めが用紙の中央になります。このため、印字桁数が 136 桁を超える場合（A3 横置きなど）、左端が 1 桁めよりも左になります。この場合、開始桁は 1 桁めになります。1 桁めよりも左側（0 桁めや -1 桁めなど）は印字できません。
- DL はダブルレター、LG はリーガル、GG はガバメントリーガル、LT はレターサイズを表します。

左置き、カット紙全面の場合

用紙サイズ	縦置き			横置き		
	印字開始桁	印字桁数	印字行数	印字開始桁	印字桁数	印字行数
A3	1	116	99	1	165	70
B4	1	101	85	1	143	60
A4	1	82	70	1	116	49
B5	1	71	60	1	101	42
A5	1	58	49	1	82	34
ハガキ	1	39	34	1	58	23
DL (11×17)	1	110	102	1	170	66
LG (8.5×14)	1	85	84	1	140	51
GG (8.5×13)	1	85	78	1	130	51
LT (8.5×11)	1	85	66	1	110	51

補足
・ 文字ピッチ 10CPI、行ピッチ 6LPI を基準にした値です。

中央置き、カット紙全面の場合

用紙サイズ	縦置き			横置き		
	印字開始桁	印字桁数	印字行数	印字開始桁	印字桁数	印字行数
A3	11	116	99	1	164	70
B4	19	100	85	1	142	60
A4	28	82	70	11	116	49
B5	34	70	60	19	100	42
A5	40	58	49	28	82	34
ハガキ	46	39	34	46	58	23
DL (11×17)	14	110	102	1	170	66
LG (8.5×14)	27	84	84	1	140	51
GG (8.5×13)	27	84	78	4	130	51
LT (8.5×11)	27	84	66	14	110	51

補足
・ 文字ピッチ 10CPI、行ピッチ 6LPI を基準にした値です。
・ 印字開始桁とは、用紙上のいちばん左に印字される文字の桁位置です。このため、印字桁数が 136 桁を超える場合（A3 横置きなど）、左端が 1 桁めよりも左になります。この場合、開始桁は 1 桁めになります。1 桁めよりも左側（0 桁めや -1 桁めなど）は印字できません。
・ DL はダブルレター、LG はリーガル、GG はガバメントリーガル、LT はレターサイズを表します。

15インチ連続紙モード（横固定 / 左置き）の場合

用紙サイズ	15×11			15×12		
	印字開始桁	印字桁数	印字行数	印字開始桁	印字桁数	印字行数
対応する全用紙サイズ	1	136	66	1	136	72

補足
・ 文字ピッチ10CPI、行ピッチ6LPIを基準にした値です。

10インチ連続紙モード（縦固定 / 中央置き）の場合

用紙サイズ	10×11			10×12		
	印字開始桁	印字桁数	印字行数	印字開始桁	印字桁数	印字行数
対応する全用紙サイズ	29	80	66	29	80	72

補足
・ 文字ピッチ10CPI、行ピッチ6LPIを基準にした値です。
・ 印字開始桁とは、用紙上のいちばん左に印字される文字の桁位置です。

3.3 リセット時の状態一覧

電源投入時や操作パネルからのシステムリセット時は、すべて立ち上げメモリーの設定内容になります。

参照

・ 立ち上げメモリー：「 メモリーメニュー」(P. 21)

索引

モードメニュー一覧　DocuPrint C3350（201H）

オプション
初期値（太枠）
プリントできます
〈仕様設定〉ボタン
プリント言語の設定
201H
ESCP
HPGL
PDF
PCL
PostScript
XPS
XDW(DocuWorks)
プリント機能メニュー
(前ページ参照)
201Hスイッチ
国別文字
日本
アメリカ
イギリス
ドイツ
スウェーデン
自動改行
CR/LF
CR
印字指令
CR
すべて
CRの機能
復帰
復帰/改行
0の字体
斜線なし
斜線あり
ｸﾞﾗﾌｨｯｸ ﾄﾞｯﾄ数
ネイティブ
コピー
データサイズ
7ビット
8ビット
ページ長
11インチ
12インチ
拡張子指定
無効
有効
拡張子文字
〈戻る〉
[&%]
[&%]
相当文字コード各桁
0x21～0x7d 単位:1
フォーム合成
しない
フォームが登録されている場合
201H フォーム
01 12345678
02 abcdefgh
64 hisaashi
ART IV フォーム
01 12345678
02 abcdefgh
64 hisaashi
フォーム名を選択したあとでそのフォームが削除された場合でも、再び本メニューを表示したときには、そのフォーム名を表示する。ただし、その表示状態から〈▲〉〈▼〉ボタンで項目表示が変更されたあとは表示しない。
フォームが登録されていない場合
フォーム登録はありません
ﾒﾓﾘｰ ﾒﾆｭｰ
立ち上げﾒﾓﾘｰ
工場出荷時
メモリー登録されている場合
No.01
No.05
最大値：5
ﾒﾓﾘｰ呼び出し
工場出荷時
メモリー登録されている場合
No.01
No.05
最大値：5
メモリー登録
No.01
No.02
No.05
最大値：5
メモリー削除
メモリー登録されている場合
No.01
No.02
No.05
最大値：5
メモリー登録されていない場合
メモリー登録はありません

商品のお問い合わせ先について

● この商品の**保守、操作、修理**(内容、期間、費用)のお問い合わせ、および**消耗品**をご購入される場合は、商品に貼られている保守サポートの問い合わせ先カードの裏面に記載のあるテレフォンセンター、または商品センターにお問い合わせください。

表面

裏面

お問い合わせ先が不明の場合は、富士ゼロックスプリンターサポートデスクにお問い合わせください。(各アプリケーションの操作につきましては、各ソフトウエアメーカーの問い合わせ窓口にお問い合わせください。)

フリーダイヤル　フジゼロックス

0120-66-2209　FAX：**0120-14-1046**

フリーダイヤル受付時間：土・日・祝日および弊社指定休業日を除く9時～17時30分

フリーダイヤルは、携帯電話・PHSおよび海外からはご利用いただけません。また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。

お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

本機を廃却する場合は、お買い上げいただいた富士ゼロックス、各販売会社の担当営業にお問い合わせいただき、お申し込みください。
担当営業が不明な場合には、プリンター回収センターで受付します。
TEL：0120-88-8641　　FAX：0120-22-6993
受付時間：9時～12時、13時～17時

弊社へのお問い合わせの際には、機種名と機械番号を確認させていただきます。
保守サポートの問い合わせ先カードの裏面の「機種」「機械No.」、もしくは商品の背面または側面の銀色のシールに記載されている「商品名」「商品コード」「SER#」を事前にご確認ください。

DocuPrint C3350

PC-PR201H エミュレーション設定ガイド

著作者 ― 富士ゼロックス株式会社
発行者 ― 富士ゼロックス株式会社

発行年月―2009 年 12 月　第 1 版

(管理 No: ME4653J1-1)